

ステップバイステップ ガイド

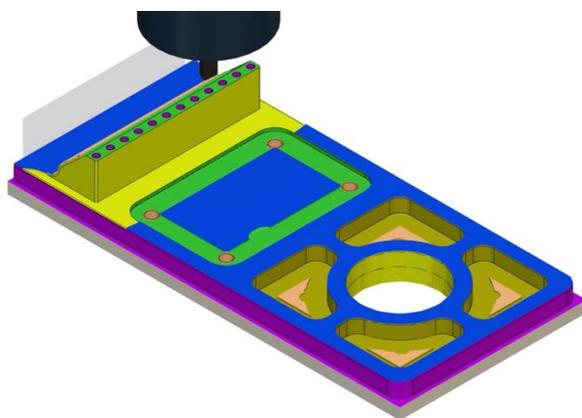
シミュレーションを使用してツールパスを検証

各プロジェクトで、ツールパスがストックを予測どおりに切削していることを確認することが重要であり、すべてのツールパスを一緒にシミュレーションすることが重要です。前のツールパスで完了した作業を再実行している操作で、元に戻って取残し加工を有効にすることができます。同じ工具を使用していて、切り替えが不要な場合は、ツールパス間の工具移動を確認することも重要です。

シミュレーション ツールを使用してプロセス全体をシミュレーションし、プロジェクトを CNC マシンに送信する前に潜在的な問題を特定する方法について学習します。

学習の目的:

- シミュレーションツールを使用して、ツールパスのプロセスを検証し、潜在的な問題を特定します。
- シミュレーションのサイクルタイムを特定します。



完成図

1. Phone Stand Base M6.f3d ファイルを開きます。

[製造]作業スペースの Fusion 360 のシミュレーション ツールは、潜在的な問題が発生する可能性があり、CNC マシンでポスト処理を行う前に常にプロセス全体をシミュレーションする必要がある場所を示す強力なインジケータです。操作の開始から終了までを表示するプロセスを開始するには、セットアップ全体をクリックします。

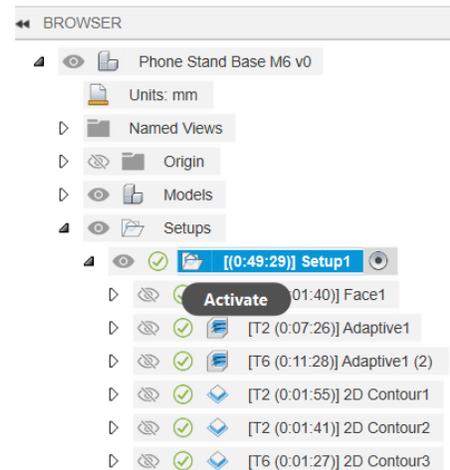


図 1. ツールパスのシミュレーションプロセスを開始します。

2. 個々のセットアップまたは([Ctrl]/[Cmd]を押しながら)複数のセットアップをクリックして、それらのプロセスのみを表示することもできます。

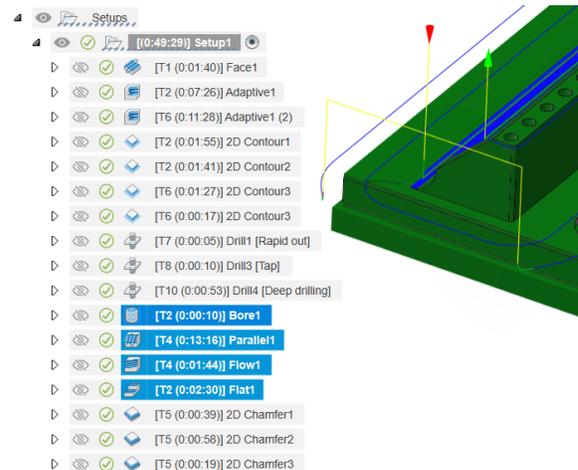


図 2. 必要に応じて、個別または複数のセットアップを指定します。

3. ツールバーの[マシンを使用してシミュレート]をクリックして、シミュレーションを開始します。



図 3. [マシンを使用してシミュレート]をクリックします。

4. シミュレーションでは、希望の材料を加工するツールパスが適切に進行していたり、加工しないツールパスが適切に加工されていたりします。シミュレーションにより、新規ツールパスの色が自動的に変更されるため、パーツ上の指定された領域の各サーフェスに対して、どの操作が実行されているかを迅速に識別することができます。

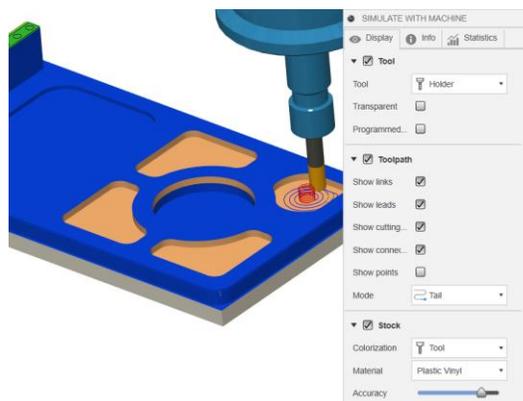


図 4. 新規工具の色が変化します。

5. 工具は、パーツの可能性とカッターの干渉を示す赤い警告なしで、同じ Z 方向を向いている必要があります。

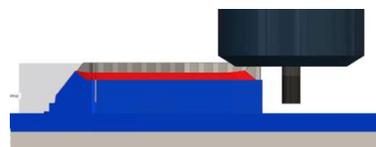


図 5. 赤色の警告は潜在的な衝突を示します。

6. 個々のツールパスのシミュレーション中に、タイムラインにカーソルを合わせて、特定の操作が投影される時間を確認することができます。

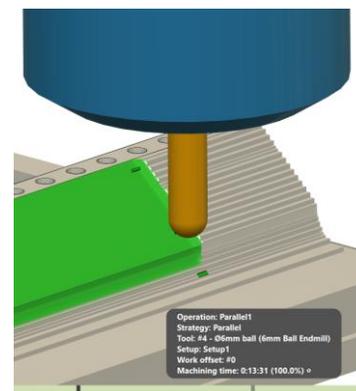


図 6. 個別のツールパスの加工時間を確認します。

7. シミュレーションの合計時間を表示するには、[マシンを使用してシミュレート] ダイアログ ボックスの[統計]タブで、その情報にアクセスします。ファイルを保存します。

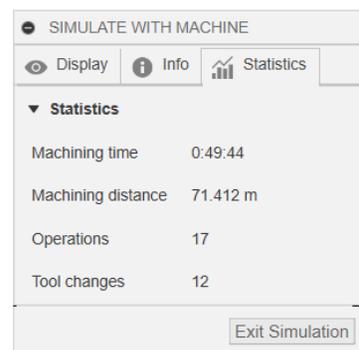


図 7. [統計]タブでシミュレーション時間の合計を確認します